

令和 7 年度研修

構造計算の基礎

主 催 一般財団法人 全国建設研修センター
後 援 国 土 交 通 省
全国知事会・全国市長会・全国町村会

構造計算は、様々な荷重に対して構造物がどのように変形し、どのような応力（荷重に抵抗する力）が発生するかを計算することにより、構造物の安全性や有用性を確認することを目的としています。

本研修では、どのような計算で、どのような結果が得られれば、安定した構造物として判断できるかを、必要最小限の数式により構造力学の基本を学びます。

さらに、実務で対象とされる単純梁や擁壁などの比較的簡単な構造物について、手計算による演習とコンピューターによる構造計算を体験し、設計の考え方を修得します。

受講後は実務で扱う構造物の設計手法の理解が深まり、設計の照査技術力の向上が期待されます。

また、全国から集まった参加者の相互交流、情報交換の貴重な機会として好評を得ています。皆様のご参加をお待ちしております。

……… 受講された方々の声 ………

- 基礎だけでなく、応用問題についても丁寧に説明いただき、非常に有意義な研修内容です。
- 初心者にも分かりやすい説明で、構造計算の取っ掛りを掴むことができた。手書きデータをもらえ、後から見返すことが出来るのも良いです。
- 計算問題は大学で学んだことであったが、概念の部分は本研修の方がより分かり易く教えて頂き、得るものが多かったです。初めの授業の「何かおかしい」という感覚を身に付けるという言葉は、大事にしていきたいです。

【研修期間】 令和 7 年 5 月 7 日（水）～ 5 月 9 日（金）3 日間

【研修場所】 一般財団法人 全国建設研修センター 研修会館

〒187-8540 東京都小平市喜平町 2-1-2

TEL 042-324-5315 <https://www.jctc.jp/>

当センターホームページよりインターネットで研修の申込みができます。

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会の継続教育（CPD）認定プログラム 申請（昨年度単位数 19.5）

一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会の継続教育（CPDS）認定プログラム申請（昨年度ユニット数 20）

※受講経費の助成制度がある県（政令市を除いた市町村職員の実務が対象となります）

青森・岩手・栃木・群馬・神奈川・新潟・富山・山梨・岐阜・静岡・奈良・和歌山・岡山・山口・徳島・高知・大分・宮崎の 18 県。

詳細は、各県市町村振興協会・こうち人づくり広域連合にお問い合わせください。

※厚生労働省人材開発支援助成金（人材育成支援コース）について

当センターでは、事業主の方が申請に必要な、本集合研修に派遣された従業員の受講状況の証明をします。

なお、当該助成金が支給されるかどうかは、各都道府県労働局が研修受講後の支給申請に基づき、審査の上決定することとされています。詳細は、厚生労働省又は都道府県労働局のホームページをご覧ください。

令和7年度研修「構造計算の基礎」実施要領(案)

1. 目的 構造力学の基礎と手計算の演習やP Cによる構造計算を体験し、設計の考え方を修得する。

2. 対象者 構造計算の基礎を理解したい者

3. 募集人数 50名

4. 研修期間 令和7年5月7日(水)～5月9日(金) 3日間

【集合研修に関する注意事項】

※通学制です。

※近隣の提携ホテルに、研修生特別料金で宿泊できます。

当センターホームページ又は下記アドレスより予約できますのでご利用ください。

<https://www.jctc.jp/training/hotel>

5. 集合日時 5月7日(水)1号館1階ロビーの教室案内板にて教室をご確認の上、9時までに教室に入室してください。

6. 教科目、講師及び研修場所 次頁以降参照

7. 申込先及び問い合わせ先

一般財団法人 全国建設研修センター 研修局 研修担当：久保寺・細谷

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

※申込はインターネット、郵送、FAXのいずれでも受け付けています。

ホームページアドレス <https://www.jctc.jp/>

TEL 042-324-5315 FAX 042-322-5296

8. 研修会費及び納入方法

研修会費 77,000円(1人当たり、消費税含)

請求書をお送りしますので、請求書到着後にお振り込みください。

※振込手数料はご負担ください。

請求書の発送・納入方法につきましては、

当センターホームページ「<https://www.jctc.jp/training/kaihi>」をご確認ください。

9. 申込締切日 令和7年4月23日(水)

10. その他

- (1) ご持参いただくもの(USBメモリ、関数機能付き電卓、筆記用具、共済組合員証又は健康保険証、雨具等)
- (2) 研修受講中の服装及び履物は、研修にふさわしい常識的なものを着用してください。
- (3) 座席の位置や個人差により体感温度に差がありますので、カーディガン等の持参をお勧めします。
- (4) 駐車場はありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。

お知らせ

食事については、平日の昼食時のみ、お弁当(税込み550円)の販売を行います。
支払いは、直接販売員にお願いいたします。

令和7年度研修「構造計算の基礎」時間割

月 日	講義時間		教 科 目	講 師	
				所 属 ・ 氏 名	
5/7 (水)	9:00 ～ 9:30		開講の挨拶・オリエンテーション		
	9:30～12:00	2.5	1 構造力学と設計	【全講義】 東京都市大学 建築都市デザイン学部 都市工学科 教 授 伊 藤 和 也	
			・ 構造物とは何か、構造力学はなぜ必要か		
			・ 構造力学におけるモデル化		
	13:00～17:30	4.5	2 力のつり合い、構造物を支える力		
			・ 設計演習に向けた構造力学のポイント		
			・ 設計事例による設計手法の理解		
			・ 構造物を支える方法		
			・ 力のつり合い、安定と不安定、静定と不静定		
			・ はりの反力		
		・ 土木と建築の用語の相違			
5/8 (木)	9:00～12:00	3.0	3 構造物に働く荷重と断面力	株式会社 総合技術コンサルタント 東京支社 構造Ⅰ部 部 長 山 本 晃 弘	
			・ 断面力(または合力、部材力)		
			・ はりの曲げモーメントとせん断力		
			・ 曲げモーメント、せん断力、荷重の関係		
			・ 設計演習Ⅰ(断面力計算)		
	13:00～17:30	4.5	4 材料特性、断面特性、曲げによる応力度		
			・ 応力度－ひずみ関係と曲げ応力度分布		
			・ 断面二次モーメントと曲げ応力度		
5/9 (金)	9:00～12:00	3.0	・ 設計演習Ⅱ(応力度計算)メタル		
	13:00～15:00	2.0	・ 設計演習Ⅱ(応力度計算)RC断面		
	15:00～15:10		閉 講 式		

講義時間合計 19.5

※教科目及び講師については変更することがあります。

令和7年度研修 構造計算の基礎 申込書

(一般)

【受講申込者入力欄】

I312

ふりがな			年齢	性別
受講者氏名			満才	☐ 男 ☐ 女
最終学歴	☐ 大学院 ☐ 大学 ☐ 短大 ☐ 高専 ☐ 専門学校 ☐ 高校 ☐ その他 科卒業／修了			
当研修に関する経験年数	年 ヶ月	役職名	☐ 事務 ☐ 技術	
勤務先種別	☐ 国・地方公共団体 ☐ 独立行政法人等 ☐ 技術センター・財団・社团 ☐ 建設業者 ☐ コンサルタント ☐ その他			
勤務先	〔勤務先名〕			
	〔所属部課名〕			
	〒 ー TEL: ー ー			
受講者 E-mail アドレス	@			

【受講者派遣機関名入力欄】

☐ 上記受講者と同じ

派遣機関名	
所在地	〒
連絡先	—
派遣事務担当者 所属・氏名 E-mail アドレス	[所属] [氏名] _____@_____

【請求書情報入力欄】※宛名の空白指定はできません。日付は発行日になります。

[illegible]

※ 申込書に記入された氏名、年齢等の個人情報、研修を円滑に実施するためのものです。
申込書の記載事項は、研修の事務連絡及び実施に必要な書類等の作成以外の目的では利用いたしません。

< 研修場所 >

一般財団法人 全国建設研修センター
研 修 会 館

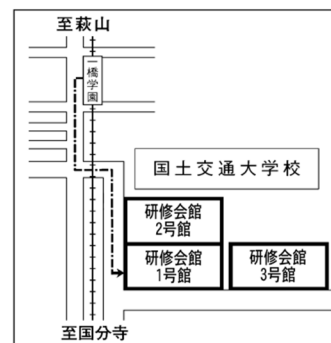
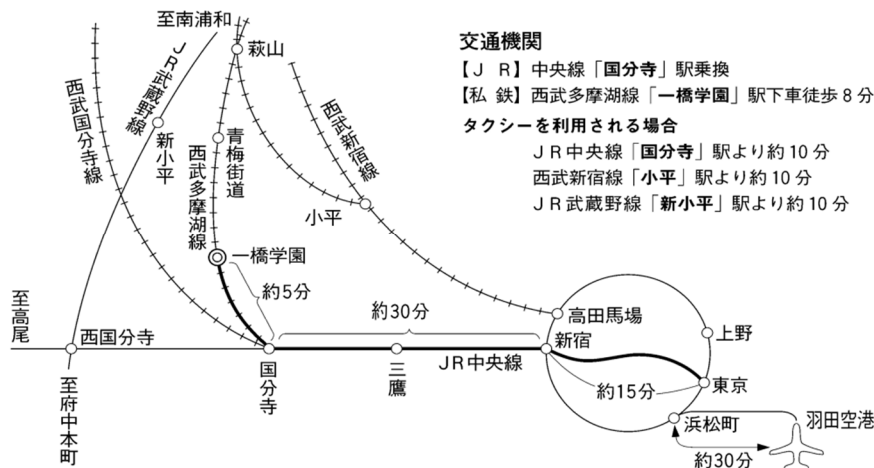
※1号館にお越しください。

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

TEL 042(324)5315(代)

FAX 042(322)5296

<https://www.jctc.jp/>



令和7年度に実施する研修の実施計画についてはホームページでご確認ください。

ホームページアドレス <https://www.jctc.jp/>

【メール配信】 メール配信サービス「建設研修のお知らせ」は、あらかじめご登録いただいた方に、募集中のコースなどの情報を随時お知らせするサービスです。

なお、この場合は全ての研修について配信されます。

ご希望の方は、下記 URL または二次元コードよりお申込みください。

<https://www.jctc.jp/training/mail-service>

